

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○50音のひらがなをほぼ全員の子が書けるようになった。 △濁音促音などについて、到達不十分の児童がいる。	・ひらがなを確実に習得し、簡単な文章の構成を知り、気持ちや考えを表現できる力	・ひらがなの濁音促音などについて繰り返し練習を行う。 ・文を書き写す作業を通じて、簡単な文章の構成を知る。 ・絵日記や観察カード等、文を書く機会を多く設ける。	2
2 が よ い 、 3 が	○ブロックを使って和の仕組みや計算を説明することができる。 △文章問題の文章が読み取れず、問題の意味が理解できない児童が多い。	・問題を理解し、課題を解決する力。	・図やブロックなどを使い、具体物などを通じて理解しやすいようにする。 ・国語の文章の読み取りの機会を多く設け、算数と連携しながら文章が読み取れるようにする。 ・朝学習や学習の合間の読書を奨励し、読書の機会を多く設ける。	2
生活	○あさがおの世話や校庭探検などの活動に意欲的である。 △観察での発見を絵や言葉で表現する力が不十分な児童がいる。	自分の発見を言葉や絵で表現する力	・観察の視点を「葉」「つる」「花」「つぼみ」等しぼって観察させる。 ・文例を示し、最初のうちは真似をさせながら文型を覚えさせる。	2
音楽	○ほとんどの児童が情景や気持ちを想像して歌ったり、演奏したりすることに興味をもち、取り組むことができる。 △簡単なリズムを正確に取れない児童が各クラス2, 3人いる。 △正しい音程感覚が身に付いていない児童が多い。	・リズムを正確にとる力 ・音の高低を意識して歌う力	・授業にリズム遊びや打楽器のリズム打ちを多く取り入れる。 ・ドレミの音程を意識した発声練習を行い、音の高低を意識する活動を取り入れる。	2
図工	○児童が興味をもって意欲的に取り組み、興味関心も高い。 △何をどう表現したら良いのかわからず、活動に入るまでにとても時間がかかる児童がいる。	表したいことを見付けて表現する力	・授業の流れを明確に示す。 ・教科書の例示作品等の実演を見せ、イメージを膨らませるようにする。 ・児童の作品を紹介し、児童が工夫している点を紹介し、活動の幅を広げていく。	3
体育	○体を動かすことの楽しさや心地よさを感じている児童が多い。 △きまりや活動を工夫する力が不十分である。	自分たちの力に応じて、きまりや活動を工夫する力	・工夫した動きや行い方などを見合ったり、ほめあったりする時間を設定する。 ・運動の場や用具の工夫について、話し合う時間を設定する。	2

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	<p>○学力テストでは、ほぼ全ての観点で、学習内容が十分身に付いていた。</p> <p>△書く能力について、到達不十分の児童が多い。</p>	<p>・簡単な文章の構成を知り、書きたいことの表現の仕方を身に付け、活用する力</p>	<p>・継続的に日記を書き、書くことに慣れ親しませる。</p> <p>・学んだ表現方法を使って、繰り返し文を書かせる。</p> <p>・書いた文章は読み返す習慣をつけ、間違いなどに気付き訂正することができるようにする。</p> <p>・児童の作品を紹介し、表したいことを見付ける手がかりにし、良い表現方法を学ぶことができるようにする。</p>	2
2がよい、3が	<p>○たし算、ひき算共に計算技能が高い。</p> <p>△数の構成を理解できず、指の補助を必要とする児童が4分の1程度いる。</p>	<p>・数の構成を理解し、計算に生かす力。</p>	<p>・授業中や放課後、宿題等で繰り返し練習を行う。</p>	2
生活	<p>○ミニトマトの世話や町探検、生き物探しなどの活動に大変意欲的である。</p> <p>△観察での発見を絵や言葉で表現する力が不十分な児童がいる。</p>	<p>・自分なりの発見を言葉や絵で表現する力</p>	<p>・観察の対象をしぼって、手本を示しながら絵に表すことで、細かいところまで見ようとする意識を高める。</p> <p>・観察の視点を明確に示し、毎回の観察で確かめながら記録できるようにする。</p>	3
音楽	<p>○ほとんどの児童が情景や気持ちを想像して歌ったり、演奏したりすることに興味をもち、取り組むことができる。</p> <p>△簡単なリズムを正確に取れない児童が各クラス2、3人いる。</p> <p>△正しい音程感覚が身に付いていない児童が多い。</p>	<p>・リズムを正確にとる力</p> <p>・音の高低を意識して歌う力</p>	<p>・授業にリズム遊びや打楽器のリズム打ちを多く取り入れる。</p> <p>・音当てゲームやドレミ体操などを行い、音の高低を意識させる。</p>	2
図工	<p>○ほとんどの児童が興味をもって意欲的に取り組むことができる。</p> <p>△何をどう表現したら良いのかわからず、活動に入るまでにとてもし時間がかかる児童がいる。</p>	<p>・表したいことを見付けて表現する力</p>	<p>・授業の流れを明確に示す。</p> <p>・教科書の例示作品等を見せ、イメージを膨らませるようにする。</p> <p>・児童の作品を紹介し、表したいことを見付ける手がかりにできるようにする。</p>	2
体育	<p>○友達と一緒に体を動かす楽しさを感じている児童が多い。</p> <p>△活動をよりよくするための工夫する力が不十分である。</p>	<p>・自分たちの能力をよりよくするための工夫する力。</p>	<p>・活動をよりよくするために友達の動きを見て参考にしたり、良い点を見つけたりする時間を設定する。</p>	2

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	▲4月実施のCDTテストの結果、総合的な学力は、全国平均を下回っている。 ▲読む能力のポイントが全国平均より8ポイント低い。	文章を正しく読解する力	・文章の大切なところにサイドラインを引かせる指導を繰り返す。 ・家庭学習などに音読や読書を取り入れ毎日取り組ませる。	2
少 し い 、 2 3 が	○見学や調べ学習に意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ▲地図や資料を読み取り、自分の考えをまとめることを課題とする児童が半数以上。	資料を読み取り表現する力	・資料を読み取る際の視点を示す。 ・読み取って分かったことを交流する(言語活動)を毎時間取り入れる。	2
算 数	○4月実施のCDTテストの結果、総合的な学力は、全国平均を上回っている。 ▲知識や技能の習得は概ねできているが、文章問題になると正答率が格段に低くなる。	文章問題を正しく読み取り、表現する力	・チャレンジタイムや宿題で既習事項の反復練習をさせる。 ・問題文の大切なところにサイドラインを引かせるなど、正しく読解する方法を示す。 ・文章問題を一日一問以上自力解決させる。	2
理 科	○昆虫や植物に興味・関心をもち、進んで調べようとする児童が多い。 ▲観察して分かったことを表現する力に課題がある。	観察したことを表現する力	・観察の視点を示す。 ・事実と感想をしっかりと分けるように指導する。 調べ学習の流れを明確にし、自主学习等で日常的に取り組ませる。	3
音 楽	○音楽活動全般が好きで、意欲的な児童が多い。 ▲今後学習をすすめていく中で、リコーダーにつまづきそうな児童が数名いる。	リコーダー演奏への意欲及び基礎技能の定着。	・子供たちにとって易しく楽しめる曲に取り組み、苦手意識をもたせないようにする。机間指導を毎時間行い、子供たちのつまづきを見逃さないようにする。	3
図 工	○絵を描いたり、工作をすることが好きな児童が多い。 ▲課題の始めは意欲的だが、見通しを持って取り組む児童がまだ少数のため、予定の期日までに完成しない児童が複数いることがある。	活動の見通しを持って、粘り強く取り組める力	・1つの課題につき6時間から8時間程度かけて完成させるような、じっくりと取り組める課題を設定する。	3
体 育	○運動に意欲的に取り組もうとする児童が多い。 ▲自分やチームの課題を明確にし、めあてをもって取り組むことに課題がある。	めあてをもって運動に取り組む力	・単元や一時間ごとの課題を明確に示し、個々のめあてをもたせる。 ・めあてカードを単元ごとに作成し、評価する。 ・チームのめあてや作戦を立て、それにもとづいて動いている児童を評価する。	2

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	4月実施のCDTテストの結果、総合的な学力は、全国平均を下回っている。市の学力調査では、書く能力が9.7ポイント市の平均より低い。言語についての知識・理解・技能についても、7.3ポイント低い結果であった。○アンケート結果により、読書が好きな児童がとても多い。 ▲総合して、全国より国語の力は10ポイント低い	言語に興味をもって活用する力(表現する力) 文章の意図を読み取る力	朝の会等を活用し、相手に伝わるポイントをおさえた短いスピーチを行う。 授業の内容を焦点化し、何をどのように読むのかはっきりした授業を行う。	2
算数	○見学や調査を意欲的に取り組むことができる児童が多い。 ▲地図や資料から分かることを見つけたり、自分の考えをもったりすることを苦手としている児童が多い。	資料を活用し、自分の考えを表現する力	毎時間の学習で、まとめを丁寧に行い、学習のふり返り、学習感想を書く。	1
理科	4月実施のCDTテストの結果から、総合的な学力は、全国平均よりやや高い。市の学力調査では、数学的な考え方が市の平均より8.8ポイント低い。 ▲総合的な学力は、CDTテストでは全国平均が7ポイント、学力調査では5.6ポイント低い。 ▲知識を生かして式や図に表す力がやや弱い。	文章題の題意を的確に捉え、式や図に表現する力。 式や図に表すことで、筋道を立てて考える力。	1時間の学習の流れを示し、見通しもたせる。ノートの充実を図る。	2
音楽	○昆虫や植物に直接触れることに興味・関心をもっている児童が多い。 ▲観察する力、観察して分かったことを表現する力に課題がある。	洞察力、観察力、表現力	原因を追究する学習ができるように、学習問題を意識付ける。	2
図工	○歌唱が好きな児童が多い。 ▲音楽を鑑賞する時、友達の演奏を聴く時に集中力を保つことが苦手である。	・聴くことを楽しむと共に、聴いたことを自分の演奏に生かす力。	・表現活動の楽しさをたくさん体験させ、創意工夫の必要性、そのための聴き合いの必要性を感じ取らせる。子供たちが興味を持って聴くことができるような鑑賞曲を取り入れ学習する。	2
体育	○絵を描いたり、工作をすることが好きな児童が多い。 ▲課題の始めは意欲的だが、見通しを持って取り組む児童がまだ少数のため、予定の期日までに完成しない児童が複数いることがある。	・活動の見通しを持って、粘り強く取り組める力	・1つの課題につき6時間から8時間程度かけて完成させるような、じっくりと取り組める課題を設定する。	2
	○意欲的に取り組もうとする児童が多い。 ▲ボールを投げることや捕球することを苦手としている児童がやや多い。	ボールを使った運動の技能	単元においてボールを効果的に活用した学習計画を立て実施する。	3

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○CDTテストの結果から、教科全体の正答率は全国平均を上回っていることが分かった。 ▲書く力に課題がある児童が3割ほどいる。	・自分の思いや考えを明確に表現するための構成を考えて書く力	・単元の内容に沿って、文章の構成を考えたときのポイントを具体的に示す。 ・新聞記事に対する意見を書く活動やおすすめの本を紹介する活動に継続して取り組み、日常的に書くことを習慣づける。	2
「よ、い、し、こ、が、」	○CDTテストの結果から、教科全体の正答率は全国平均を上回っていることがわかった。 △多くの資料から適切に情報を読み取り、自分の言葉でまとめる力が十分でない。	・具体的資料を効果的に活用し、調べたことを表現する力	・調べ学習の際に、資料を読み取る観点を示し、必要な情報を取捨選択できるようにする。 ・まとめ活動の際に、ノートにまとめるだけでなく、新聞やポスター、ガイドブックなど、様々な表現方法を児童に示す。	2
算数	○CDTテストの結果から、教科全体の正答率は全国平均を上回っていることが分かった。 ▲観点別にみると、数学的な考え方がやや低い傾向にある。	・題意を的確に捉え、既習事項を生かして課題を解決することができる力。	・既習事項を確認しながら授業を進めるとともに、チャレンジタイムや家庭学習で反復練習させる。 ・文章問題等、間違いの多い問題を全体で扱い、つまづきやすいところは繰り返し確認する。	2
理科	○興味・関心が高く、実験や観察に進んで参加する児童が多い。 ▲自分の知識や生活と結びつけて論理的に考える力が十分でない。	・既習事項や自分の知識・生活経験から予想を立てる力 ・学んだことを次の学習や生活の場面で生かそうとする力	・以前に学習した内容を思い起こし、比較しながら、共通点や違いに気付くことができるようにする。 ・単元のはじめ(事象提示)や活用の場面を工夫することで、学んだことを生活と結びつけて考えられるようにする。	2
音楽	○表現、鑑賞共に、友達と関わり合い創意工夫をしながら学習をすすめることができる。 ▲発言を多くする子、グループ活動を中心となってすすめる子が固定化されている。	・一人一人が、自分たちの演奏への思いをもち、よりよい表現にしていく力	・引き続きグループ活動を取り入れ、その中でより多くの子が発言できるように働きかける。ワークシートを使い振り返りを行うことで、個々の思いを見取る。	3
図工	○絵を描いたり、工作をすることが好きな児童が多い。 ▲作業が早くて雑な児童と、丁寧だが設定した時間内に完成の目的が立たずにいつまでも終わらない児童の差が大きい。	・興味・関心を持続させ、進んで表現活動に取り組むことのできる力	・題材ごとに導入を工夫し、作品例を提示するなど、作品制作の目標を示す。	3
家庭科	○興味をもって学習に取り組む児童が多い。 ▲経験の乏しさからくる自信のなさ、不器用さが目立つ。	・家庭での仕事の経験値 ・学んだことを家庭生活で活用する力	・学んだことを家庭で活用する機会を作り、家庭の協力を得る。(トライカード)	3
体育	○多くの児童が、体育の学習を楽しみながら取り組んでいる。 ▲技能の差が開きはじめ、技能の低い児童の関心の低下がみられる。	・運動に親しむ態度 ・基礎的な身体能力	・指導内容を明確化、体系化し、スモールステップで児童に取り組ませるようにする。	2

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○調べ学習や書く学習は、見通しが持てると意欲的に取り組むことができる。 ▲全国学力調査テストの結果は、特に言語事項や文章読解に課題が見られた。	・読解力や文章を要約する力	・教科書の要約やサイドライン、練習問題などに取り組む。 ・めあて、学習計画を明確にした授業を行い、見通しをもって学習できるようにする。	2
「少しよい」「3が」	○意欲的に学習に取り組むことのできる児童はとて多い。 ▲CDTの結果から、知識・理解、技能、思考・判断・表現の全てが全国平均を下回りっている。特に、思考表現判断は、14ポイント下回っている。	・学習した内容の定着 ・調べて分かったことを自分の言葉で表現する力	・単元の内容に合わせて、導入の工夫→予想→学習問題の設定→調べ学習→まとめ→といった問題解決型の学習スタイルの確立を図る。 ・教科書を基本に、調べる活動を丁寧におこなう。	2
算数	○技能の反復練習を繰り返し、力は定着しつつある。 ▲全力学力調査テストの結果は、図形を除き、各観点ごとほぼ－6ポイントであった。基礎的な計算力を生かした問題解決に課題がある。	・基礎的な知識・理解 ・題意を理解し、考え、課題を解決する力。	・学んだ知識を自分の言葉でまとめさせる。 協働的な学びを通して、学び合いや課題解決学習に取り組む。	2
理科	○興味・感心が高く、実験に進んで参加することができる。 ▲5年生の内容も含め、特に思考・表現の定着が不十分である。	・科学的な用語の習得。 ・思考・表現力の定着。	・ワークシートや資料映像を活用し、思考・表現力の定着を図る。 ・具体的な問題解決の授業を行い、児童の思考・表現力を定着させる。	2
音楽	○表現活動全般が好きで、楽しんで取り組む児童が多い。 ▲リコーダーがあまり好きではない、苦手であるという意識をもっている児童が多い。	・リコーダー演奏への意欲及び基礎技能。	・リコーダーが活躍する合奏曲に取り組んだり、演奏を聴いたりする活動を通し、リコーダーへの興味関心を高める。	2
図工	○図画よりも工作が好きで児童が多い。 ▲最初から最後まで手が進まないような児童もいる。	・活動の見通しを持って、粘り強く取り組むことのできる力	・人の作品を見たり、作品について意見交流する時間を設けて、見通しを持って活動させる。	2
家庭科	○興味をもって学習に取り組む児童が多い。 ▲学んだ事を生活に生かしたり工夫したりする児童が少ない。	・学んだことを家庭生活で活用する力	・学んだことを家庭で活用する機会を作り、家庭の協力を得る。(トライカード)	3
体育	○体育好きな児童が多く、活動に意欲的に取り組むことができる。 ▲課題をもって運動できない児童がいる。 ▲教え合い、学び合いなどの関わりが十分にできていない児童がいる。	・課題に向けて自主的に運動すること。 ・関わりのある活動や話し合いができるようにする。	・毎時間の始めに運動のめあてを確認し、運動のポイントを明確に伝える。(言葉やイラスト) ・関わり合いや話し合いを増やした授業を計画する。 ・作戦を立てる、応援するなどの機会を増やし、互いに励まし合ったり協力し合ったりする経験をさせる。	2

成果と課題

本校の学力の傾向をCDTテストや都学力調査、全国学力調査の結果から検証すると「思考・表現・判断」の力に課題が見られた。

その為、今年度は「思考・表現・判断」の力を児童に身に付けるために授業の改善、指導の工夫に取り組んできた。各学年の評価から少しずつ改善している様子が見取れるが来年度も「思考・表現・判断」の力を身に付けるための授業改善を行っていきたい。

※評価欄の数字は、1が「もう少し」、2が「よい」、3が「大変よい」という意味です。